

A long, long time ago, there lived an old man and an old woman.

The village they lived in was located at the bottom of a mountain, therefore, when the old man worked on the field, many animals came down from the mountain to see him. Out of all the animals, there was just one naughty animal: the raccoon.

The raccoon messed and destroyed crops on the field and bullied the other animals, and so the old man was always concerned about it.

One day, the old man thought of capturing the bad raccoon, therefore he pasted some sticky trap on a stump that the raccoon always sat on.

Once the old man started working, the raccoon came down to see him.



5

"Hey! You naughty raccoon!"

The old man raised his hoe at the raccoon, but he quickly scurried away and sat on a stump as he clapped his hands and squeaked in an uproar of laughter at the old man.

"Ha ha, he got caught on the trap."

He approached the raccoon with a hoe in his hand, and the raccoon quickly tried to run away, however, his bottom was stuck to the stump and he could not move.

"How's that! Just give up!"

The old man had finally caught the cheeky raccoon.



むかし むかし、あるところに、  
おじいさんと おばあさんが すんでいました。  
ふたりの すんでいる むらは、やまの ふもとに  
あったので、おじいさんが はたけしごとを  
していると、いつも やまから どうぶつたちが  
あそびにきていました。

この どうぶつたちの なかに、いっぴきだけ、  
いたずらばかりする 『たぬき』がいました。  
たぬきは はたけを あらしたり、  
ほかの どうぶつたちを いじめたりするので、  
おじいさんは いつも こまっていました。

あるひ おじいさんは、  
この いたずらたぬきを つかまえてやろうと、  
たぬきが いつも すわっている きりかぶに、  
とりもちを めっておきました。  
おじいさんが いつものように  
はたけしごとを はじめると、きょうも また、  
あの たぬきが やってきました。



「こらあ！いたずら たぬきめ！！」

おじいさんが くわを ふりあげると、  
たぬきは ちょこまかと はしりまわり、  
やがて きりかぶの うえに すわって、  
てを たたいて わらいはじめました。

(ひっひっひ、たぬきのやつ、ひっかかりおったな・・・)

おじいさんは くわを かまえて、  
たぬきに ちかづきました。  
たぬきは、すぐに にげようとしたが、  
きりかぶに おしりが くっついて、  
みうごきが とれません。

「どうだ、まいったか！」

こうして おじいさんは、  
ついに いたずらたぬきを つかまえました。

